

令和2年度 フォーレスト事業報告

ねばりづよく、力強く根をはろう

職員異動状況

入職 : 正規職員 3名 嘱託職員 1名 パート職員 1名
 介護職 3名 介護職 1名 介護職 1名

退職 : 正規職員 3名 嘱託職員 2名 パート職員 5名
 介護職 3名 介護職 1名 介護職 3名
 看護職 1名 看護職 1名
 運転手 1名

異動 : 正規職員 9名
 管理責任者 1名 (和光より)
 主査 1名 (こころより)
 介護職 7名 (ともがきより 1名 / こころより 2名 / ナナラより 1名)
 (ともがきへ 1名 / こころへ 2名)
 嘱託職員 3名
 介護職 2名 (こころより)
 看護職 1名 (ともがきより)

パート職員 0名

育児休業 : 正規職員 1名
 施設ケアマネージャー 1名

1 人財育成と定着率の向上について

- この数年間、「人を大切に 人にやさしく」を法人の合言葉として小林人材育成アドバイザー指導のもと様々な取り組みを実施してきました。新型コロナウイルス感染症予防対策として、アドバイザーによる直接顔と顔を合わせての面談や研修は実施できず、リモートによる個別面談等が実施、継続されてきました。令和2年度は法人内で新規採用職員3名の受け入れをし、引き続きフォーレストは職員育成の場としての役割を担い、1人1人に合わせた研修計画を丁寧に立案し、担当者も固定した職員をつけることによって指導内容が異なるという混乱を事前に回避する体制作りに努めて参りました。本人・研修担当者・事業所の主任等・管理責任者において定期的な研修計画の進捗状況を確認し、そのうえで法人本部と今後の進め方等について相談・研修をすすめてきました。



はじめから介護技術を指導するのではなく、まずは①通勤に慣れること②職場の拘束時間に慣れること③仕事に合わせた生活リズムを確立すること、という社会人になる第1歩目のところから研修が開始されました。

- ・地域ケア研究所によるキャリア段位に基づく介護技術の実践講習、また法人内職員の介護技術の標準化に向けた習得確認テストを実施。

7月23日(木) 排泄～更衣介助

※法人内9名の職員が参加(フォーレストからは入居主任1名参加)

8月20日(木) 排泄～更衣介助(2回目)

第1回目のテスト終了後、第2回目は職員同士が評価をし合い、他者に教えることで自身のスキルアップを図るという目的も付け加え実施。

新年度に向けては、根拠のある介護、介護技術の標準化を目的とし、Bチーム(リーダー)へも同様に、Aチーム(今回テストを受けた副主任以上)が評価者となりテストを実施予定としています。

- ・キャリア段位制度のアセッサー認定者をオンライン受講により2名排出しました。既にアセッサーとしての資格を持つ職員については相互評価を実施予定でしたが、今期は実施に至らず段位認定の取得者は0名となりました。

2 医療との連携

令和2年2月、長野県内で新型コロナウイルス感染者の第1報から今日まで、感染症対策を常に意識し、看護職を中心に今まで以上に日々入居者の体調変化に目を向けてきました。同時に職員自身の体調や家族の体調、外出予定に至るまで細心の注意をはらってきましたが、介護という仕事自体、身体を寄せ合わせないとできない仕事であり、緊張感の中での業務となりました。

入居者・職員共に1日4回の検温・マスク着用・手洗い・消毒・自己管理ノートの記入等、感染症対策を徹底して行い、また最悪を想定したマニュアルの作成、状況に合わせて内容変更をその都度行って参りました。

法人内で発熱から嘔吐医への上申基準を設け、早期対応をする中では入院につながるケースも多数見られましたが、治療と共にPCR検査の実施をもって退院となる流れができ、安心して退院支援ができるようになりました。また家族の面会制限が引き続き行われましたが、LINEのビデオ通話が定着してきました。

入居者だけではなく勤務する職員が安心して業務に就けるよう、抗原検査・PCR検査を法人負担により実施していただきました。

令和2年度 感染症対応状況(主なもの)は下記の通り

令和2年4月14日 第2回 法人感染管理委員会

令和2年6月12日 第3回 法人感染管理委員会

令和2年6月15日	職員抗体検査実施	}	計 82名実施
令和2年6月16日	職員抗体検査実施		
令和2年6月24日	第4回 法人感染管理委員会		
令和2年6月29日	第1回 フォーレスト感染症予防委員会		
令和2年6月29日	入居者抗体検査	}	計 53名実施 (グループホーム含む)
令和2年6月30日	入居者抗体検査		
令和2年7月6日	入居者抗体検査		
令和2年7月6日	第2回 フォーレスト感染症予防委員会		
令和2年7月6日	デイ利用者抗体検査	}	計 38名実施 (デイ)
令和2年7月21日	デイ利用者抗体検査		
令和2年7月22日	デイ利用者抗体検査		
令和3年1月11日	フォーレスト感染症対策委員会 感染症マニュアル見直し・修正		
令和3年1月9日	フォーレスト職員 抗原検査	}	計 93名実施
令和3年1月13日	フォーレスト職員 抗原検査		
令和3年1月14日	フォーレスト職員 抗原検査		
令和3年1月27日	法人内サービス利用者 1名		新型コロナウイルス陽性
令和3年1月28日	短期入所生活介護・通所介護		サービス休止
令和3年2月8日	短期入所生活介護・通所介護		サービス再開
令和3年2月23日	令和3年度版 マニュアル作成		
令和3年3月31日	フォーレスト職員 抗原検査	}	計 92名実施
令和3年4月5日	フォーレスト職員 抗原検査		
令和3年4月6日	フォーレスト職員 抗原検査		

「いのちを守る」ことを最優先に12月には法人内に感染症対策本部が設置され、感染症対策のより具体的な指示、強化が図られました。法人内で実際に陽性者が発生となりましたが、最悪を想定したマニュアルの作成等に事前に取り組んだ結果、感染拡大にはつながらず、最小限にとどめることができました。今後も引き続き感染症対策は継続されていきます。

3 安全の担保

福祉機器の導入も検討しましたが、今年度は感染症予防のため外部との接触を必要最低限とし、具体的にデモ機を借りる等の動きがとれず計画のみとなりました。ただし福祉用具の中でも一般的に使用されているセンサーマットは、故障しているものは修理する、数が足りない分は新たにリースを組むといった部分では実行することができました。それで終わりではなく、必要な方が必要な箇所で使用できるよう、入居者の生活を知る、職員の動きを変えるというところまでつなげていきます。



さらにナースコールの不具合が多くなり、入居者が困っているときにすぐに対応できないといった状況がうかがえています。巡視の回数を増やす、職員同士で声を掛け合う等の対応をしている現状ですが、新年度は計画的にナースコールの入れ替えを予定していきます。

令和2年度は非常用発電機を設置しました。一昨年の台風時にフォーレスト全館が停電となり、24時間の酸素吸入が必要な入居者もいる中では「いのち」を守りつつも、ヒヤットとする場面に遭遇しました。「備えあれば憂いなし」という言葉の通り、最悪を想定した対応に早期に取りかかりました。

また全館の照明をLED化し、非常用発電機の活用と共に、今後の施設運営に効果が表れることを期待します。

4 通所介護（デイサービス）の稼働率アップに向けて

4月にはともがき利用者27名を受け入れ稼働率の上昇も見込まれたが、実際には大幅なアップには結びつきませんでした。感染症対策の中で新規利用者の受け入れ制限もあり、例年通りの新規登録には至っていません。

年間の平均稼率は下記の通りです。

令和2年度 74.0%（定員：40名） ※前年度比 -4.6%

令和1年度 78.6%（定員：35名）

1月・2月においては感染症によるサービス休止期間があり、稼働率が大幅に低下しました。しかし居宅介護支援事業所と協力のもと、在宅生活を支える代替として自宅への訪問サービスを実施した実績もあります（配食や安否確認等）。サービス休止期間中も本人や家族と密に連絡を取り合い、体調確認や困りごとを相談できる場を設けました。また居宅介護支援事業所のケアマネージャーへも必要な情報は都度共有し、ほう（報告）・れん（連絡）・そう（相談）を心掛けて参りました。

この感染症対応により、送迎車内で密にならない工夫やカラオケ等のレクリエーション内容の見直し、更に利用時間や入浴回数を見直しをすることで、本来のデイサービス利用目的が明確となるプラスの面も見え、この感染症対応の中で得た経験や知識を今後の日常の業務の中では是非前向きに捉えていきたいと考えます。

またフォーレストの強みとしてきた近隣では取得が難しいとされている認知症加算は、年度途中から職員の異動により取得ができない状況となりました。新年度、相談員1名が認知症介護実践者研修を受講し、再び加算取得ができるように体制を構築してしていきます。もう一つの具体的な取り組みとして、利用者に係るデータをCHASE・VISITへ提出し、フィードバックの活用により事業所の特性やケアの在り方等を検証し、ケアプランへの反映やケアの質の向上を目的とした加算取得も目指します。



5 地域とのつながり

今年度は感染症対策として、地域行事への参加はかないませんでした。

月	年間行事計画
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃 9日(木) → 中止 ・常田区いきいきサロン → 中止
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃 14日(木) → 中止 ・常田区子供相撲大会 → 中止 ・グリーンパーク通り清掃活動 → 中止
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃 11日(木) → 実施 ころろ周辺 5名参加 ・常田区いきいきサロン → 中止 ・本海野いきいきサロン 17日(水) → 中止
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃 9日(木) ・花バスツアー → 中止
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃 6日(木) → 実施 フォーレスト周辺
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃 10日(木) → 実施 フォーレスト周辺 6名参加 ・常田区いきいきサロン → 中止 ・常田区防災訓練 → 電話連絡のみの参加 ・常田区運動会 → 中止
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃 8日(木) → 雨天のため延期 15日(木) → 実施 フォーレスト周辺 5名参加 ・民生員研修会 21日(水) → 法人としての取り組み紹介
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃 12日(木) → 実施 フォーレスト周辺 4名参加
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃 10日(木) → 実施 フォーレスト周辺 5名参加
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃 14日(木) → 中止
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃 11日(木) → 中止
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃 11日(木) → 中止

グループホーム

- ・運営推進会議が年度を通して1度のみの開催となりました。
書面報告ではより具体的に、感染症対応策も写真等を添付し、見える化した形での報告を心掛け、直接伝えることができない分、わかりやすいようお伝えをさせていただきました。
- ・令和2年度、しなの福祉教育総研福祉事業部による外部評価が行われました。感染症対策のため時間を短縮して実施となりましたが、自己評価と合わせて外部の評価機関による評価が行われました。



その中で「地域との付き合い」という項目において、今年度はコロナ禍だったため不可能でしたが今後に期待しますというコメントが残されましたが、前年度までの取り組みについてはしっかり評価されました。

また利用者調査の中では家族より、事業所に対して改善してほしい点が3点ほどあげられました。改善するとともに、現状における問題点と課題を抽出し「目標達成計画」として評価機関へ提出し、その目標達成に向けた具体的な取り組みを確実に実行していきます。

- ・令和3年3月23日には指定地域密着型サービス事業所に係る実地指導が行われました。その中で改善が必要とされた項目が4点あり、すでに改善されたもの、今後早急に対応が必要なものがあります。関係法令を遵守し、適正な事業運営をしていきます。



令和2年度 在宅支援センター事業報告

ねばりつよく、力強く根をはろう

職員移動状況

入職	:	令和3年1月4日付	パート	1名
退職	:	なし		
異動	:	特養こころより	4月1日付	パート 1名
		特養こころより	11月1日付	正職 2名
			嘱託	1名
			パート	2名
		フォーレストより	11月1日付	正職 1名
		ナナーラより	11月1日付	嘱託 1名

1、人材育成について

- ともがきの事業転換に伴う11月からの小規模多機能居宅介護支援事業所、住宅型有料老人ホーム開設に向けてともがきデイサービス登録者の方が法人内にあるこころデイサービス、フォーレストデイサービスのそれぞれの特徴を利用者へ伝えることで利用者の希望に沿ったデイサービスへの移行がスムーズに行うことができ、安心して利用していただける環境を整えることができました。

また11月1日開所した小規模多機能ともがき、住宅型有料老人ホームともがきの特性について地域の方に知って頂き、利用していただくことができました。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、研修会開催がなく学ぶ機会が減少しています。学ぶ機会として、それぞれのケアマネが持っている情報や地域の情報については1回/週実施しているこころ会議内で情報共有を行ってきました。

支援困難ケースについても、担当ケアマネが一人で抱えることなく地域包括へ相談したり全ケアマネで情報共有し検討しながら勧めています。
- 介護相談室こころ、和光のそれぞれのケースについて在宅支援センター職員でのケース検討会を行う予定でしたが、実施できず、次期に向けて個別ケースについて検討しそれぞれの専門職からの意見交換の機会が持てるよう調整していきたいと思えます。
- 和光事業所会議を毎月1回実施予定としていましたが、4月、5月は感染症の関係で行えず、6月18日(木)、7月16日(木)、8月18日(火)、9月15日(金)、11月24日(火)、12月23日(水)に行いました。会議内容は、利用者のケースについての検討、感染症対策について、行事について、和光職員、こころ居宅森島主任も参加し会議を実施しました。1月、2月、3月は感染症発症の為、会議を実施することはできませんでした。



- ・11月1日に開所しました小規模多機能ともがき、住宅型有料老人ホームともがきについては11月26日（水）、12月25日（金）に会議を行い個別ケース、感染症対策について検討しました。その後は1月に感染症が発症したため実施することはできませんでした。

2、利用者の裾野を広げ法人内利用所への利用に繋げる

- ・特養こころ、フォーレスト、グループホームへの入所申込書の名簿管理、点数化を行うことで次期入所者の選定をスムーズに行うことができきています。

4月9日、5月7日、6月4日、7月2日、8月6日、12月10日に理事長、茅野常務理事、こころ岩佐管理責任者、黒岩主任、こころケアマネ、フォーレスト古田管理責任者、宮崎主査、フォーレストケアマネ、和光山口管理責任者、居宅こころ森島管理責任者、在宅支援センター柏原が参加し法人内の入所判定会議を行いました。

4月は5名、5月は7名、6月は3名、7月は10名、8月は6名、12月は15名、計461月、2月、3月は15名の施設入所申し込み希望者があり、3月末現在で122名の待機者があります。

12月24日に入所申し込み書を提出して頂いてる利用者に1月31日締め切りで現況調査を行いました。次期入所者にスムーズに入所していただけるよう、こころ管理者、フォーレスト管理者との連携を密にしていきます。

- ・病院周りを行う予定でしたが感染症の関係で、行くことができず営業活動はほとんど行えていない状況ではありましたが、地域包括や病院地域連携室を通じて（東御市民病院、信州うえだ医療センター、鹿教湯病院、浅間南麓こもろ医療センター）等、医療機関から直接新規利用者紹介、また施設入所希望がある方についての紹介がありました。

介護相談室こころでは、年間で48件の新規利用者の紹介がありました。しかし永眠、施設入所、有料老人ホームへの入所が決まり請求件数は減少傾向ですが、今後も新規紹介をして頂けるよう関係性の構築を目指していきます。

- ・小規模多機能和光については、5月1日付で1名登録し、8月1日付けで1名がグループホームへ移行、8月1日付けで1名登録、8月31日付けで1名登録解除、9月1日付けで1名登録し、11月1日付で1名がグループホームへ移行、11月1日付で1名登録し、1月に1名登録解除となり、3月に2名登録し登録者25名となっています。

小規模多機能和光での支援が困難になった場合については、法人内のグループホームや特養こころ、フォーレストへ繋いでいきます。

小規模多機能和光の利用希望者ですが3月末現在で2名の待機者があります。

3、小規模多機能ともがき・住宅型有料老人ホームともがきスタート

- ・小規模多機能ともがき、住宅型有料老人ホームともがき希望者の名簿作成を行い、ともがき開設準備委員会で6月23日より幹部会終了後、ケース検討を実施しました。

9月より毎週水曜日に山口委員長を中心にともがき開設準備委員会を実施し開所に向けて準備

をしてきました。

- ・10月より小規模多機能ともがき・住宅型有料老人ホームともがきの利用決定者のアセスメント、契約を取り交わしました。10/25に内覧会を行い36名の方に来所いただきました。建物の広さや落ち着いた雰囲気を感じたとの声が多く聞かれました。

局長からは、これからは「介護の内容で合格点を頂けるよう頑張りましょう。」とお言葉を頂き、職員一同、これからは本番であり「みんなで頑張ろう。」と言う気持ちを新たに持つことができました。

10/31には開所式を行い来賓者16名、ちいさがた福祉会役員14名、職員が参加し、利用者代表として有賀豊子様がテープカットを行いました。法人からは、折り鶴でひょうたんやともがきの文字を模った心のこもった壁飾りをいただき、コロナ禍ではありましたが好天に恵まれ盛大に開所式を行いスタートをきることができました。

3、地域貢献

- ・法人全体で地域清掃を1回/月、第2木曜日に予定し実施しています。

6月11日(木) 東御湯の丸インター信号～エボシ山急送までの歩道

本部 茅野常務、佐々木局長

こころ 9名 フォーレスト 5名

居宅 7名 計 23名

7月9日(木) 田中商店街 5名

フォーレスト 6名

こころ 14名 計 25名

8月6日(木) 田中商店街 3名

フォーレスト 5名

こころ 8名 計 16名

10月10日(木) 田中商店街 3名

フォーレスト 6名

こころ 9名 計 18名

10月8日(木) 田中商店街 2名

フォーレスト 5名

こころ 7名 計 14名

11月12日(木) 田中商店街 2名

フォーレスト 5名

こころ 7名

ともがき 3名 計 17名

12月10日(木) 田中商店街 2名

フォーレスト 7名

こころ 8名

ともがき 4名

計 21名

1月～2月は感染症発症の為、地域清掃を実施することができませんでした。

- ・新型コロナウイルスの影響で地域での行事参加が全く行えていない状況です。

今後も終息は困難な状況から地域との結びつきをどう考えたら良いかを検討していきたい
と思います。担当ケースを通じて地域の方や民生委員との連携強化に努めていきます。

- ・東御市民生児童委員協議会よりちいさがた福祉会へ施設概要・運営方針・入居者の利用状況
コロナ感染症対策についての研修会講師の依頼がありました。

10月21日(水) 茅野常務理事、佐々木局長、岩佐課長、こころ居宅ケアマネが参加して
前段で茅野常務理事の挨拶、コロナ感染症についての話、そして岩佐課長より法人の施設概要
運営方針や取り組み等を話した後に、介援隊とこころ居宅ケアマネ7名とのコラボによる、コ
ロナ禍における高齢者の現状に対して、ちいさがた福祉会がどんな支援ができるかを題材にし
て歌、お芝居を行いました。利用者にとのようにかかわっていくのが理解できたとお言葉を
いただき大変好評でした。

4、地域包括事業

- ・ケース検討会議、地域交えての地域ケア会議等の設定が行えていない状況ではありますが、
個別のケースを大切にしながら利用者が望む生活に向けて必要なサービス、社会資源、
介護保険制度外サービスについての検討をこころ事業所会議、和光事業所会議、
ともがき事業所会議で検討をしていきます。
- ・新型コロナウイルスの影響で、必要最低限の会議しか行えませんでした。誰もが住み慣れた
地域で最後まで暮らすことができるよう、医療連携、多職種連携、地域の方との連携が今まで
の積み重ねにより、できてきているので継続して実施していきます。
- ・新たに田中商店街の在宅支援センターに「介護、障がい何でも相談室」を開設しました。
医療と福祉、介護と障がいそれぞれの分野を「何でも」という言葉に託しました。
誰でも気軽に立ち寄って頂けるような事業所を目指していきます。

5、こころ居宅介護支援事業所の実施指導

- ・6月15日(月) 午後3:00～午後5:00まで東御市福祉課高齢者係長、池田恵子氏、
主査、大塚伸吾氏が来所され、こころ居宅介護支援事業所の実施指導が行われました。
事前に事業所概要、自己点検表、居宅介護支援費自己点検表、利用者一覧表を福祉課高齢者係
へメールで送信しました。当日は、人員基準関係、運営基準関係、介護報酬関係について書類
の確認がありました。立ち合いは、森島管理者、柏原が行い確認書類についてはそれぞれの担



当ケアマネが事前に準備したケースファイルの説明を行いました。

改善事項として利用者に複数のサービス事業者等の利用を求められることができるという説明を同意を得ることについて、できていないとの是正がありました。また加算の算定種類、単位数についての指導もあり契約書、重要事項説明書へ追記しました。指導事項に基づきながら日の業務を行っていきます。

6、新型コロナウイルス感染症について

- ・新型コロナウイルス感染症が全国で拡大し長野県でも感染者が確認され、法人内でも対応策として情報の共有が図られました。

令和2年2月26日	法人内感染症会議	
令和2年2月28日	自己管理ノート記入	
	外出予定表提出要請	
令和2年3月30日	介護部門感染症対応会議	
令和2年4月14日	法人内感染症会議	森島、山口、柏原
令和2年4月22日	感染拡大防止に伴う利用制限について周知	
令和2年6月12日	法人内感染症対応会議	森島、山口
令和2年6月15日	職員抗体検査実施	
令和2年6月16日	職員抗体検査実施	
令和2年6月23日	和光利用者抗体検査	10名
令和2年6月24日	法人内感染症会議	森島、山口、柏原
令和2年6月25日	和光利用者抗体検査	5名
令和2年6月26日	和光利用者抗体検査	9名
令和2年7月16日	居宅、和光感染症会議	和光職員、居宅職員
令和2年7月22日	感染症研修	森島、山口、柏原
令和3年1月17日	感染症リモート研修	
令和3年1月27日	法人内感染症対策会議	
令和3年2月 3日	感染症認定看護師派遣（ともがき内ラウンド指導受ける）	
	法人内感染症対策会議	

- ・新型コロナウイルスに伴うデイサービス、ショートステイ事業が縮小した場合のこころ居宅担当利用者のニーズ一覧表を作成し特養こころ、フォーレストへ伝えました。
その都度、新型コロナウイルス感染症の動向をみながら感染症対応に努めていきます。
- ・和光、新型コロナウイルス発生時のマニュアルについて作成し和光職員に周知しています。
- ・7月16日に在宅支援センター（居宅こころ、和光）で感染症対策についての会議を実施しました。



- 居宅こころ、和光職員、ともがき職員には自己管理ノート記入、1日4回の体温測定、手洗いうがいの徹底、居宅内、和光内の消毒、ともがき内の消毒、県外外出予定表の報告について周知をしました。
- 住宅型有料老人ホーム利用者1名が、1月に新型コロナウイルス感染症に罹患し保健所指定の病院へ入院となりました。その後保健所の指示で1月29日ともがき利用者、職員1回目のPCR検査を実施し利用者1名、職員1名陽性反応となり保健所指定の病院へ入院となりました。2月3日、ともがき利用者、職員の2回目のPCR検査が行われ全員陰性となりました。2月8日、ともがき利用者、職員の3回目のPCR検査が行われ保健所より全員陰性との連絡を頂きました。2月12日には入院中であったともがき有料利用者1名が退院し3月10日にともがき有料利用者1名が退院となり、利用者、職員ともに全員治癒することができました。今回の新型コロナウイルス感染症で職員、利用者共に感染症の恐ろしさを痛切に感じました。今後も新型コロナウイルス感染症の終息は望めないことから、今まで以上に感染症対策を徹底し感染症予防に努めていきます。